



本事業の開催にあたり川越市をはじめ、大変多くの方々には多大なご支援とご協力を賜りましたこと、心より感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

本事業はテーマに「本丸御殿で盆踊り、川越の新たな可能性を発信しよう」を掲げました。コロナ禍以降、盆踊りの機会が失われてしまった自治体があるなかで、川越商工会議所青年部が中心となって開催いたしました。地域の垣根を超えて皆さんで楽しめるそんな盆踊りを実現することを目的に進めてまいりました。

第85回 交流会報告

K 青年部 川越商工会議所
AWAGOE 青年部会報誌



鐘

の

音

Kane-no-ne

川越商工会議所青年部とは

平成18年（2006年）5月29日設立。川越に集う青年経済人に「互いの知性や感性を磨き合い、新たな発想や活力を生み出す場」を提供することを目的とし、次代の川越商工会議所と川越市経済界、そして埼玉県西部地域の更なる発展を推し進めていくことを念頭に活動をしています。

た。天候にも恵まれ、200名以上のご来場をいただく中で無事に開催出来たことは、私たち企画室にとっても大きな喜びであり誇りでもあります。

そして、会場については川越の歴史を感じるこの出来る川越城本丸御殿を選定いたしました。また、この場所で開催することによって会場費や警備費が抑えることが出来たので最小限の予算で実現することができました。花火大会の中止や祭りの縮小など財政が厳しい中で、既存の施設を有効活用することによって川越の新たな可能性を見出すことが出来たと感じております。

本事業に参加された方々には、地域の垣根を超えた人と人との繋がりが育まれ、そして、川越の新たな可能性を感じていただけたなら幸いです。

最後に青年部の皆様には大変なご負担をかけてしまいました。しかしながら、私たちは地域の発展を推し進めて行くことが青年部の役割でもあります。本事業を通じて川越商工会議所の役割や目的を再認識していただき、青年部を誇りに感じてもらえたら幸いです。

本当にありがとうございました。

企画室 副部長 石川 将輝





修行の会 活動報告

修行の会第32回修行として7月28日に「キックボクシングの会」逆境を力に変える」を予定通り開催することができました。

講師にビクトリージム所属のムエタイWMOインターナショナルフェザー級王者瀧澤博人氏をお招きし、講和とキックボクシング体験を実施いたしました。

一昨年に開催した初回の参加者を超える32名の方々にご参加いただきました。

そしてその中には青年部活動初参加者が6名おり青年部活動に参加するきっかけになったことも嬉しい誤算となりました。

冒頭の講和では直前にあった7月13日のご自身の試合で、試合直前に体調不良がありこのままでは出場も危ぶまれる



中で、「この苦難・困難がある状況で勝つことができればまた自分は強くなってしまう。」とまさに逆境を力に変える経験をされたお話をいただきました。

本題のレッスンに入ると、直前に見た瀧澤氏の迫力あるミット打ちに影響され、悪戦苦闘する参加者からは新しいことへ挑戦する難しさと感じていただくとともに嬉しさを感じていました。

修行部では非日常体験を会員の皆様と体験できる企画を今後立案してまいります。

今後とも奮ってご参加ください。

修行の会 幹事 吉岡 渉



編集後記

第85回商工会議所青年部交流会が開催されました。

第85回交流会は「本丸御殿で盆踊り」をテーマに、川越本丸御殿にて盛大に開催されました。今回は会員同士の交流にとどまらず、地域の方々とのつながりを深める機会となりました。

当日は約200名が来場し、大変な賑わいを見せました。特に地域のお子様の参加が目立ち、各地区から出展された出店も盛況を博し、子供達の多くの笑顔が見られた事がとても嬉しく印象的でした。

歴史ある本丸御殿を背景にした盆踊りは、世代を超えて多くの参加者が楽しむ姿が印象的で子どもから大人まで、また会員・地域住民といった垣根を超えた一体感が生まれ地域活性化と交流の両面において意義深い会となりました。

商工会議所青年部として、準備段階から当日の運営まで積極的に関わり会員一同、地域に根差した活動の重要性を再確認し、今後の活動への大きな励みとなりました。

本交流会は、地域と商工会議所青年部との結びつきを一層強める大きな成果を残した会となりました。

情報発信室 滝本 麗華

川越商工会議所青年部 登録事業者数 219社

(令和7年10月3日現在)
・川越商工会議所青年部 会報誌
『鐘の音』第89号

令和7年10月3日発行

編集・発行責任者

川越商工会議所青年部
情報発信室 副部長 櫻井 良樹

・情報発信室

幹事：牛村 淳一／増村 隆則／滝本 麗華
阿部 竜也／松村 優
仁村 弘毅／勝間田真由美